

平成16年度認定「佐賀マイスター」

(10職種 10名)

茅(葦)ぶき	・	故	こが かずよし 古賀 一吉
陶磁器製造(上絵付け)	・		かわはら とめ お 川原 留雄
型枠施工	・		にしむら ひでゆき 西村 英行
ガラス施工	・		にしはら のりあき 西原 憲昭
テクニカルイラストレーション	・		じんのうち ひろあき 陣内 宏明
麺製造	・		ひらいし よしふみ 平石 与志文
プラスチック成形	・		おおつぼ あきら 大坪 明
理容	・		わきやま のりお 脇山 範生
樽製造	・		はらだ やすゆき 原田 拳行
溶接	・		こみや よしたか 小宮 芳隆

茅(葦)ぶき



こが かずよし
古賀 一吉

昭和3年生

塩田町

昭和19年、富永勇一氏に師事し、これまで民家、復元建築、寺院、茶室、吉野ヶ里遺跡の望楼、祭殿などの茅(葦)ぶきに従事し、約2,600軒を越す茅(葦)ぶきの実績を持っている。

また、建物全体のバランスをつかむ設計技術等に優れており、屋根葺職人の第一人者である。

※平成23年2月にご逝去

陶磁器製造(上絵付け)



かわはら とめ お
川原 留雄

昭和4年生

有田町

昭和23年に陶磁器業界に就職し、技術習得に励み、上絵付けの代表的な技法である線描き、だみに精通している。

また絵具の種類である和絵具、金銀彩絵具の調合にも精通し、特に柿右衛門様式では、文様の継承、技術保存、技術伝承にも多大に貢献している。

型枠施工



にしむら ひでゆき
西村 英行

昭和20年生

有明町

昭和39年に(有)田代工務店に入社して以来、技能の研鑽に努め、県立青年の家、県立博物館、佐賀市庁舎など数多くの建設工事に従事してきた。

これまで培ってきた技能と経験をもとに、現場責任者や若手作業員を指導し、技能向上に力を傾注している。

ガラス施工



にしはら のりあき
西原 憲昭

昭和 22 年生

佐賀市

昭和 46 年に永渕金物(株)に入社し、ガラス施工の経験を積み、昭和 56 年に西原金物ガラスを開店した。

これまで培ってきた豊富な経験とともに、取扱いが難しいダイヤモンドカッターを使っての製作などに優れた技能を有するとともに、後進への技能伝承にも意欲的である。

テクニカルイラストレーション



じんのうち ひろあき
陣内 宏明

昭和 22 年生

千代田町

昭和 46 年に(株)中村電機製作所に入社以来、防爆・制御スイッチの設計・開発に従事している。

優れた技能を駆使して描いた立体組立図は、製品の効率的な組立てを実現し、また、斬新なアイデアによる製品を考案するなど、防爆業界を代表する技能者と称されている。

麺製造



ひらいし よしふみ
平石 与志文

昭和 23 年生

神埼町

昭和 53 年に(有)井上製麺に入社以来、一貫して麺製造に従事している。

特に手作業による麺製造の工程においては、五感を研ぎ澄まし、その時々に変化する麺の状態に即応していく優れた技能を有しており、手作業による麺製造の第一人者である。

プラスチック形成



おおつぼ あきら
大坪 明

昭和 24 年生

佐賀市

昭和 47 年に九州化成(株)に入社して以来、技術研鑽に努めており、プラスチックを射出するための成形条件を短時間で設定するなど、熟練した技能を発揮している。

また、若手・中堅技能士を対象に、実技講習会の講師を務めるなど、技能の伝承に尽力している。

理容



わきやま のりお
脇山 範生

昭和 24 年生

唐津市

昭和 40 年に実松理容店に入店して以来、理容師としてカットはもとより、ブロー技術やシェービング技術などを修得し、昭和 47 年にカットハウス松竹を開店した。

また、佐賀県理容競技大会フリースタイルでは、昭和 54 年から 8 年連続優勝するなど、秀でた成績を残している。

樽製造



はらだ やすゆき
原田 泰行

昭和 29 年生

久保田町

昭和 52 年に原田参次商店に入社し、原田参次氏の指導のもと江戸時代から伝承されている手法など、酒樽製造の技能を修得した。

また、酒蔵に眠っていた直径約 2m、高さ約 2m の大型酒樽を復元するなど優れた実績を残し、地元の酒造会社から絶大な信頼を得ている。

溶接



こみや よしたか
小宮 芳隆

昭和 29 年生

伊万里市

昭和 48 年に(株)名村造船所に入社して以来、新造船建造や海洋陸上鋼構造物の溶接工事に従事し、優れた技能を有している。

また、若手技能者への指導育成にも尽力しており、特に技能を要する CO₂ 溶接などの技能継承には、直接指導するなど熱意をもって取り組んでいる。